

園だより 12 月

12月の保育のねらい 報恩(ごおん)

- ・親鸞様のご苦労なさった話を聞く。
- ・親鸞様の喜んでくださるような子どもになる。
- ・困っている人に対してのお手伝いの方法を考える。



ふじ・さくら・たんぽぽ組

- ・友だちと一緒に共通の目的を持って集団で遊ぶ楽しさを味わう。

ひまわり・れんげ組

- ・寒さに負けず友だちや保育士と体を動かして遊ぶ。

<行事予定>

日	月	火	水	木	金	土
	1	2 あそびにおいでデー	3	4 身体測定 (ふじ・さくら ・たんぽぽ)	5 身体測定 (れんげ) 布団・ズック 持ち帰り	6
7	8 身体測定 (ひまわり)	9 予行練習 10:00～	10	11	12 布団持ち帰り	13 報恩講・ 生活発表会 修了児記念撮影
14	15 愛情弁当 避難訓練	16 あそびにおいでデー 絵本デー (ふじ・さくら)	17	18 食べきり運動 (ふじ・さくら ・たんぽぽ)	19 布団・ズック 持ち帰り	20 交流講演会
21	22 郵便ごっこ (22日～26日) 集金袋持ち帰り	23	24	25 誕生会	26 布団・ズック 持ち帰り	27 保育終了
28	29 休園 (1月4日まで 休園)	30 休園	31 休園			



給食献立表 12月分

1日 (月)	カレイの煮つけ	大根と豚肉の照り煮	棒々鶏サラダ
2日 (火)	ちくわの磯辺天	ポークチャップ	カニカマ野菜サラダ
3日 (水)	根菜ミートローフ	青菜の炒め煮	スイートマッシュポテト
4日 (木)	ミンチカツ	マカロニナポリタン	白菜のツナサラダ
5日 (金)	茶碗蒸し	肉ギョーザ	冬のコロコロサラダ
8日 (月)	豚団子	五目豆煮	わかめの酢の物
9日 (火)	きびなごサクサク揚げ	炒り玉子	ハム野菜サラダ
10日 (水)	鶏の立田揚げ	肉野菜炒め	白和え
11日 (木)	カジキカツ	すき焼き風煮	マカロニサラダ
12日 (金)	呉汁	小煮しめ	ポテトサラダ
15日 (月)	愛情弁当	誤嚥事故防止のため、ミニトマトやブドウ等の球状の食品は、柔らかくしたり、切ったいしてお弁当に入れるようお願いします。	
16日 (火)	タンドリーチキン	中華野菜炒め	春雨サラダ
17日 (水)	白身フライ	大根のそぼろ煮	白菜のごま和え
18日 (木)	カレー汁	福神漬け	玉子焼き かぶのツナサラダ
19日 (金)	ソーセージドック	冬至南瓜	マロニーサラダ
22日 (月)	豆腐ナゲット	マカロニグラタン	大根サラダ
23日 (火)	鯖の塩焼き	肉もやし炒め	キャベツのごま酢和え
24日 (水)	星のコロッケ	肉ごぼう	レタスサラダ
25日 (木)	チキンライス	クリームシチュー	ゆでブロッコリー ゼリー
26日 (金)	春巻	こんにゃく金平	白菜のピーナッツ和え

＊ 12日は報恩講メニューの日です。お斎を作ります。

＊ 25日は誕生会です。チキンライスを作りますので、主食は要りません。

＊ 行事食の日を含め、お箸とコップは毎日お持ちください。

＊ 材料納入等、都合により献立を変更することがあります。

12月22日は冬至です。冬至の料理では風邪を予防する「冬至南瓜」が有名ですが、運盛り（うんもり）といって終わりに「ん」がつき2回重なる食べ物を食べると縁起が良い、運気が上がるとされてきました。「冬至の七種」南瓜、蓮根、ぎんなん、人参、きんかん、寒天、うどんの7つ。これらは栄養価が高く、寒い冬を乗り切るのに重要な食べ物で、昔からの知恵と健康への願いが込められています。

<お知らせ>

*12月9日(火)の午前10時から報恩講・生活発表会の予行練習を予定しています。

さくら組…10:00から、たんぽぽ組…10:40から、ふじ組…11:10からを予定しています。

当日見に来る事が出来ない方やおじいちゃん、おばあちゃんもご都合がよろしければ見に来てください。

*年末は、12月26日(金)までとさせていただきます。 27日(土)は土曜保育です。

*保育開始は、令和8年1月5日(月)からです。5日(月)は、通常保育となります。前日まで市場が休みの為、仕入れが困難なので、愛情弁当をお持たせください。

*1 月の園だよりは 1 月 5 日(月)に配信します。

＜お願い＞

* 駐車場について

玄関横の障害者用を含め、3台は保護者の方に停めて頂きたいと思います。空いている時は駐車してください。危険な事もありますので、必ずお家の方が先に降りてお子様と一緒に登園、道路を歩く時はしっかり手をつないで先にお子様を車に乗せてからお家の方も車に乗られるようお願いいたします。

ふじ・さくら・たんぽぽ組より

*引き続き、水筒をお願いします。

*寒くなってきましたが9時までには登園してください。園でも生活リズムを整え元気に生活していきたいと思いますのでご協力お願いします。

* 防寒着等のループ（掛けるひも）を付けてきてください。

*持ち物に名前を書いてください。特に、衣類は枚数が多いので把握できません。

肌着、靴下等にも書いてください。時々、お部屋で着替えの確認をお願いします。

*スーパーの袋・ナイロン袋を持ち帰りましたら、持ち帰った枚数分持って来てください。



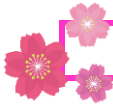


お部屋の中では…



ふじ組

おじいちゃんおばあちゃんとの芋掘りでは403個も収穫することができこれからする焼き芋会やクッキングを楽しみにしている子ども達です。話合っってメニューを決めていき、園生活最後の思い出に残るクッキングをしていきたいと思います。また、来月の発表会に向けての劇の練習も始まっています。子ども達と決めた「三枚のおふだ」の話で、配役も決まり台詞の掛け合いをしています。恥ずかしがりながらも、昨年よりも大きな声でしっかりと言えている姿があり、成長を感じています。本番まで楽しみながら練習に取り組んでいきたいと思っています。



さくら組

冬が近づき肌寒い日が続いていますが、子どもたちは寒い中でも毎日元気に遊んでいます。天気の良い日は園庭に出て鬼ごっこやリレーをして体を動かしたり、友だちを遊びに誘い合いながら楽しむ子どもたちです。12月の生活発表会に向けて、セリフや歌、「ぼよん行進曲」の踊りと歌も練習を楽しみながら覚えていけるように頑張っています。体調の変化に注意していきたいと思っています。



たんぽぽ組

だんだんと深まる秋を感じながら、自然と触れ合ったりして楽しんでいる子どもたち。園庭では鬼ごっこをしたり草花を使って色水遊びをしています。集団遊びもできるようになりクラスみんなで「なべなべそこぬけ」をしています。最初はうまくいかなかったけれど何度か練習しているとできるようになりました。お部屋では発表会の練習に取り組んでいます。役も決まりセリフを声に出して頑張っています。本番は緊張すると思いますが温かく見守ってくださいね。

ひまわり組



給食前には、手洗いをしてから自分で消毒をしたりスプーンフォークを準備して、落ち着いて座って待つ姿が見られるようになってきました。少しずつ“自分でできること”も増え、子ども達の成長を感じています。また、今月は園庭で遊ぶことが多く、気持ちよく体を動かす姿が見られました。ブランコなどの遊具では「かわってー」「いいよ」とやりとりをしながら友だちに気持ちを伝え合う姿も少しずつ見られています。これから寒くなってきましたが十分に体を動かしながら、子どもたち一人ひとり楽しく遊べるようにしていきたいです。

れんげ組（1歳児）



風が冷たくなり、冬の訪れを感じるようになりましたが子どもたちは元気いっぱい外遊びを楽しみながら日々新しい発見をしています。園庭に未満児用の砂遊びコーナーを用意して砂遊びをしていきました。砂に触ったりスコップでバケツや器に入れたり、遊んでいくうちに落ちている小枝や色づいている赤や黄色の葉っぱを見つけると拾ってきて砂のケーキに飾ったり、ろうそくに見立てて誕生日の歌を歌ったりと自然物に目を向けて見立て遊びをする姿がよく見られました。12月も冬ならではの自然物を見たり触れたりしながら寒さに負けず元気に過ごしていきたいです。

れんげ組（0歳児）



11月は戸外で遊ぶことがたくさんできました。ズックをはくことを喜び、自分でなんとかはこうとしたり、まだ感覚に慣れずすぐに脱いでしまう姿もありましたが、少しずつ芝生の園庭やお散歩に慣れてきました。砂場で砂の感触を楽しんだり、お散歩では落ち葉に触れたり、側溝のふたの穴に興味をもって小石を落とす面白さを覚え繰り返し遊びました。12月からは、外に出る機会は少なくなりそうですが室内でも体や手指をたくさん使って遊びたいです。

子どもたちの中にある力

朝夕の冷え込みが増し、晩秋らしい澄んだ空気に包まれる季節となりました。子どもたちは落ち葉遊びや秋の自然探しに胸を弾ませながら、季節ならではの遊びを楽しんでいます。

さて、新しいクラスになって早いもので半年以上が過ぎました。子どもたちの様子を見てみると、日々の中で気づかないうちにいつの間にか大きく成長していることに驚かされます。以前はトラブルが多かった子が、最近ではその姿が少なくなり、たとえば友だちとぶつかることがあっても、互いの気持ちを伝え合い、葛藤しながらも相手を思いやる姿が見られるようになりました。「ごめんね」「いいよ」と自然に言葉を交わしたり、「じゃあこうしよう」と譲り合ったりする姿に、子どもたちの中にしっかりと育ってきた思いやりの心を感じます。

また、友だち同士のトラブルに気づいた子が仲裁に入ろうとしたり、「こうしたらいいんじゃない？」とそっと助言をしてくれる姿も見られるようになりました。自分のことだけでなく、周りの人の気持ちに目を向けられるようになってきたことは、まさに子どもたちが成長している証だと感じます。日々の生活の中での小さなやりとりの積み重ねが、子どもたちの心を少しずつ豊かにしているのだと思います。

そんな子どもたちの姿に、私たち大人が教えられることもたくさんあります。子どもたちは自分の力で成長する力をしっかりと持っていて、その過程には試行錯誤や葛藤も含まれています。ときに涙することもあります。それもまた成長のひとつの証です。これからも、子どもたちが自分の中の力を信じ、できるようになったことを喜びながら、自信をもって過ごせるように、温かく見守り、支えていきたいと思っています。

たんぽぽ組担任 板倉 ちなみ

